

ばんけい

教育ほんといゅーず

かわら版

こみち  
教育の小徑 No.171

2023 January

1月号



(一財)総合初等教育研究所 参与

北 俊夫先生



今月のことば

しん き いっ てん  
心機一転

あることをきっかけに、気持ちをすべて入れ換えて出なおし、生活を改めることをいいます。「心気」とは書きません。

## 子どもの個性とは何か

- 個性とはそれぞれの子どもがもっている特徴的な性格であり、よさです。個性同士が切磋琢磨されることで、さらに豊かなものに成長していきます。
- 個性を見だし、さらに伸ばすためには、一斉・画一的な教育から脱却し、多様性を認め生かす教育が求められます。

## 個性とはどのようなことか

子育てについて話題にすると、子どもの「個性を重視する」とか「個性を尊重する」、あるいは「個性を見だし伸ばす」などといわれます。

人間のもっている個性とはそもそもどのようなものなのでしょう。『広辞苑』(第六版)には、個性とは「個人に具わり、他の人とはちがう、その個人にしかない性格・性質」、あるいは「個物または個体に特有な特徴あるいは性格」と記されています。個性的とは個性が表れているありさまのことで、具体的には容姿や形、行動や振るまいなどの状況の様子をいいます。

「豊かな個性のもち主だ」などと好意的に言ったり、「あの人は個性が強い」などとややネガティブに使われたりすることもあります。しかし、その人のなかで、特に際立っていることや顕著なことが個性であり、一般にネガティブなことや反社会的なことは個性といわないようです。

これらのことを踏まえると、個性とは他人と異なる能力や性格などを指していることがわかります。その人ならではのもち味やよさといってもよいでしょう。得意な分野でもあります。

個性とはその子なりのものであり、

個性とは多様性そのものであるといえます。子どもたちが教育の場である学校に入学してきたとき、一人一人はすでにすべて違った状態にあるということです。このような個性は、人として生まれた時点ですでにもちあわせており、それが成長とともに、次第に顕著になっていくとされています。

個性には先天的なものがあります。ただ、その後の人的、物的な環境の影響を受けながら洗練されていくものだと思えることができます。個性には後天的に成長する余地が十分にあるということです。ここに個性を生かす教育の意義と可能性があります。

## 個性を伸ばす教育のポイント

自らの個性を見だし、それをさらに伸ばそうとする子どもは、自由な雰囲気環境のなかで、主体的かつ創造的な活動に取り組むことによって育てられていきます。個別的で独創的な活動が重要な意味をもちます。一斉・画一的な教育や、いつまでも他者に依存し同調したり、模倣したりしている状態では、個性は生かされず、まして伸ばすことはできません。

没個性化から脱却するためには、子ども自身が自ら考え判断する機会に出会い、それにもとづいて実践したり

表現したりする体験が不可欠です。異なる個性同士が関わり合い、切磋琢磨し合うことをとおして、個性が磨かれ研ぎすまされていきます。

子どもたちは多様な存在であり、それぞれが多様に学んでいるという児童観に立つとともに、すべてを揃えようとする画一的な指導観を克服する必要があります。日々の授業において、一人一人に寄り添い、よさや可能性を見出す努力をするとともに、それらを生かし伸ばす教育を押し進めます。教師の仕事はそれぞれの子どもの将来がかかっていることを肝に銘じて、日々の教育指導に当たりたいものです。

個性は人間だけでなく、犬や猫などほかの動物にもみられます。これらの動物を飼っている人は実感されていることでしょう。人間の場合と同様に、それぞれに個性があり、個性に応じた育て方が求められます。

学習指導要領の総則には、「個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める」とあります。個別的な学びと協働的な学びをそれぞれ充実させ、両者を相互に関連づけることがポイントです。また、従前からいわれてきた基礎・基本を確実に身につける教育(揃えること)と個性を伸ばす教育(達えること)をバランスをとって一体的に展開することが大切です。

1月

今月の記念日

22日

飛行船の日

大正5年(1916年)のこの日、日本初の国産飛行船「雄飛号」が、埼玉県所沢から豊橋を経由して大阪まで実験飛行したことに由来します。

## 工場のおじさんは大変だったよ

部品工場を見学した茜さんは「おじさんの仕事は大変だったよ」と感想を述べました。すると、子どもたちから「同じデース」と同調する反応が返ってきました。このときどうリアクションしますか。

ここでは、茜さんが「大変だった」と発言したことに注目します。茜さんは仕事のどのような事実を見て「大変だった」と感じたのでしょうか。このことを確かめるために、教師は「茜さんはどうして『大変だ』と思ったのですか」と問い返します。

茜さんは、「おじさんが『注文された部品を約束の時間までにきちんと届けないといけない。道路が渋滞すると間に合うかどうか心配になります』と言っていました」と、「大変だ」と捉えた中身を説明しました。

すると「同じデース」と言っていた子どもたちから「僕の『大変だ』は違います」と発言を求めてきました。理由を聞くと、「おじさんは、僕がもう寝ている夜の10時ごろまで仕事をしているからです」「おじさんの手を見たら、油で黒く汚れていたからです」などの反応が出されました。

茜さんの「大変だ」の発言を見逃さず、注目してリアクションしたことによって、子どもたちは「大変だ」の中身が多様にあることに気づくことができました。仕事の厳しさや大変さを再確認した場面でした。



## 『生徒指導提要』の改訂

文部科学省が『生徒指導提要』を改訂しました。これは生徒指導に関する教師向けの手引き書です。今回は冊子にはされず、文科省のウェブサイトにて電子版のみ公表されています。

改訂のポイントのひとつは、日本が1990年にすでに批准している「子どもの権利条約」や「子ども基本法」の趣旨を踏まえた生徒指導の基本的な考え方が述べられていることです。子どもの基本的な人権に十分配慮することや一人一人の子どもを大切にされた教育を進めることを求めています。

また、教師の不適切な指導について

「不適切な指導」となりうる行為が例示されました。例えば、「大声で怒鳴る、ものを叩く・投げる等の威圧的、感情的な言動で指導する」「児童生徒の言い分を聞かず、事実確認が不十分なまま思い込みで指導する」「組織的な対応を全く考慮せず、独断で指導する」などがあげられています。

『生徒指導提要』は、第I部で「生徒指導の基本的な進め方」について論述したあと、第II部の「個別の課題に関する児童生徒への対応」では、いじめ、暴力行為、喫煙・飲酒などの少年非行、児童虐待、自殺、中途退学、不登校、インターネット・携帯電話に関する課題、性に関する課題、多様な背景をもつ児童生徒への生徒指導など、多岐にわたって述べられています。

## 北俊夫の「実践と研究」の足あと

### 大学生にカルチャーショック

岐阜大学と国土舘大学には、合わせて17年5か月間在籍しました。岐阜大学から国土舘大学に異動したのは平成20年の4月でした。大学では学生からショックを受けたことが多々ありました。私が学生だった頃とは大きな違いがあったからです。カルチャーショックを受けた事例を紹介します。

前の週に休講を予告したときです。ある学生から「どうして休講になるのですか。授業料を払っているのですから、ちゃんとやってください」と言われたのです。休講になると、学生は喜ぶとばかり思っていました。ところが大きな思い違いでした。言われてみれば、当然のことです。学生の意識の変容ぶりに時代の変化を感じました。

講義に関連した参考図書を紹介しま

した。ところが、事前に読んでくる学生は皆無でした。教科書として指定した図書さえ買い求めない学生もいました。本を読まない学生、本を買わない学生、本を持ち歩かない学生があまりにも多いことにびっくりしました。

試験の成績を出したときです。ある学生が研究室に来て、「私の成績が『優』でなく『良』になっているのはどうしてですか」と聞いてきたのです。自分の評価と違っていたのでしょうか。私は試験の結果（小論文）をもとに、評価規準を示しながら説明しました。すると、学生は納得して帰っていきました。評価の仕方を事前に説明しておく必要があると感じました。

「いまどきの学生は」などと言われます。社会が変わると、学生も変わっていく。これまでの教育の「成果（結果）」だと自分に言い聞かせました。

## INFORMATION

### 新刊 自然災害防止教育と学校の役割

防災訓練や避難訓練を行うだけでなく、その意義や必要性を子どもたちに認識させることの重要性を説いた一書!



著者/北 俊夫  
定価/1,430円(税込)  
発行/株式会社 文溪堂

## 編集後記

自然災害が頻繁に起きている昨今、自然災害を自分ごととして捉え、日頃から備えることが大切です。学校における防災教育の現状と課題を改めて確認したうえで、自然災害防止教育の目標や計画の立て方、各教科との関連などについて、実践もふまえてわかりやすく解説されています。先生だけでなく、防災に関わる方にもぜひ読んでいただきたい一冊です。(Y記)



企画・編集：ぶんけい教育研究所  
発行：株式会社 文溪堂  
発行日：2023年11月1日